

事業番号	04 04 02	事業改善シート（令和5年度実施事業分）	<input type="checkbox"/> 当初要求	<input type="checkbox"/> 当初予算案	<input type="checkbox"/> 補正予算案	<input checked="" type="checkbox"/> 点検
事業名	地域の交通安全を推進するための事業	部局	県民文化部	課・室	くらし安全・消費生活課	
		実施期間	S45 ~	E-mail	kurashi-shohi @ pref.nagano.lg.jp	

### 1 現状と課題

平成17年以降交通事故件数は減少しており、令和3年の交通事故死者数45人は統計開始以来最も少なかったが、令和4年は新型コロナウイルス感染症拡大による社会経済活動制限の緩和に伴う影響もあり、死者数は前年比+1人と昨年を上回ったため、改めて交通安全関係機関・団体、市町村等と連携し、交通ルールの遵守と正しい交通マナーの実践による県民の交通安全意識を向上させる必要がある。

### 2 事業目的

- ・県民の交通安全の意識を高め、交通事故のない安全で安心な県民生活の実現を目指す
- ・安全教育の充実による安全安心な自転車利用の推進を図る

### 3 事業目的を達成するための取組

#### ①交通事故のない安全で安心な県民生活の実現

- ・季別（年4回）の交通安全運動に合わせた（街頭）啓発活動の実施
- ・交通死亡事故が短期間で発生した際の「交通死亡事故多発警報」等の発表による注意喚起の実施
- ・交通事故被害者等が抱える補償問題や生活問題等の解消を図るための相談・助言等の実施
- ・高齢ドライバーによる運転事故防止のため、関係機関・団体及び関係部局と連携し、安全運転、高齢者の移動支援及び日常生活の充実を図るための懇談会を開催
- ・高齢ドライバーの安全運転支援のため、安全運転サポート車（サポカー）普及チラシの作成・配布

#### ②安全安心な自転車の利用促進の取組

- ・「長野県自転車の安全で快適な利用に関する条例」に基づく安全安心な自転車の利用推進のため、幼児から高齢者までライフスタイルに合わせた啓発活動（小冊子・チラシ配布等）の実施
- ・道路交通法一部改正（令和5年4月施行）によるヘルメットの着用努力義務化を踏まえたチラシの作成・配布
- ・自転車の安全な利用の促進に向け、高校生及び高齢者へのヘルメット購入助成を市町村を通じて実施

### 4 成果指標

（推移の凡例 ↗：改善 ↘：悪化 →：変化なし —：数値なし）

No.	指標名	単位	R3年度		R4年度		R5年度		R5年度 目標値	達成 状況	目標値設定理由
			実績	実績	推移	実績	推移				
①-1	交通事故重傷者数（暦年）	人	492	476	↗	511	↘	476	未達成	第11次長野県交通安全計画においてR7年に500人以下の目標としていることからR5年は476人以下を維持する	
①-2	高齢ドライバーによる交通事故件数（暦年）	件	1,331	1,349	↘	1,469	↘	1,293	未達成	高齢者の免許保有者数、事故件数全体に占める高齢ドライバー事故の割合については、年々増加しているため、直近10年で最も少ない1,293件を目標とする	
②	自転車事故発生件数（暦年）	件	626	532	↗	615	↘	520	未達成	第2次長野県自転車活用推進計画においてR9年に470件以下を目標とすることからR5年は520件を目標とする	

### 5 本事業が貢献する総合5か年計画の施策分野と達成目標

No.	施策分野（施策の総合的展開名）	達成目標 （★印が付いているものは主要目標）	単位	直近3か年の状況						目標	
				年	数値	年	数値	年	数値	年	数値
1-6①	県民生活の安全確保	★交通事故死者数	人	2021 (R3)	45	2022 (R4)	46	2023 (R5)	42	2025 (R7)	45

### 6 事業コスト

（単位：千円、人）

区分	予算額					決算額	職員数
	前年度繰越	当初予算	補正予算等	合計 (予算現額)	うち一般財源		
R5年度	0	19,654	15,223	34,877	34,560	21,458	9.4
R4年度	0	22,834	△ 640	22,194	21,123	20,510	9.0
R3年度	0	22,873	0	22,873	22,630	19,526	9.0

事業番号	04 04 02	事業改善シート（令和5年度実施事業分）	<input type="checkbox"/> 当初要求	<input type="checkbox"/> 当初予算案	<input type="checkbox"/> 補正予算案	<input checked="" type="checkbox"/> 点検
事業名	地域の交通安全を推進するための事業		部局	県民文化部	課・室	くらし安全・消費生活課

## 7 主な取組実績と成果

### ①交通事故のない安全で安心な県民生活の実現

- ・季別の交通安全運動（年4回延べ47日間）における啓発活動等の実施や交通安全教育により、県民の交通安全意識の向上を図ったことで、令和5年の交通事故死者数については、統計が残る昭和23年以降最小である42人まで減少した。
- ・短期間のうちに交通死亡事故が連続発生した際の「交通死亡事故多発警報」の発令（年3回）により、交通安全意識の高揚を図った。
- ・交通事故被害者等が抱える補償問題や生活問題等の相談に対してきめ細かく対応するため、交通事故相談員による情報交換を行う機会を設け、知識や対応力の向上を図ったことにより、相談者のアンケート結果では満足度80%以上を維持した。
- ・高齢ドライバーによる交通事故防止を図るため、高齢ドライバーの免許更新時に安全運転サポート車（サポカー）のチラシを配布し、高齢ドライバー事故の抑止対策を図った。

### ②安全安心な自転車の利用促進の取組

- ・「長野県自転車の安全で快適な利用に関する条例」に基づく安全安心な自転車の利用推進のため、県内の幼児（5～6歳児）及び小学校新1年生全員に交通ルールを学ぶための小冊子を作成・配布した。また、通学等で自転車の利用頻度が増加する高校生への啓発をはじめ、各種イベントや街頭啓発活動において、自転車の安全利用を呼び掛けるチラシを作成・配布し、安全意識の高揚による自転車事故防止を図った。
- ・自転車の利活用を推進するため、自転車活用推進計画ネットワーク会議を開催した。
- ・令和5年4月から自転車乗用時には自転車用ヘルメットの着用が努力義務となったことを踏まえ、市町村が利用率の高い高校生及び事故時に重傷化しやすい高齢者に対して自転車用ヘルメットの購入費用の助成等を行う場合、その経費を補助した。（27市町村）



長野県自転車安全・安心PRキャラクター 風野 りん

## 8 成果指標の達成状況に関する要因分析

指標①-1	交通事故重傷者数（暦年）	R4年度推移	↗	R5年度推移	↘	達成状況	未達成
関係機関や団体と連携した街頭活動等の実施によって、コロナ禍前の令和元年（646人）からは減少しているものの、令和5年5月の新型コロナウイルス感染症の5類感染症への移行に伴う社会経済活動の活発化の影響から、昨年（476人）からは7.4%増加した。							
指標①-2	高齢ドライバーによる交通事故件数（暦年）	R4年度推移	↘	R5年度推移	↘	達成状況	未達成
高齢ドライバーに対する各施策を関係機関と推進したことにより、コロナ禍前の令和元年（1,657件）からは減少しているものの、令和5年5月の新型コロナウイルス感染症の5類感染症への移行に伴う社会経済活動の活発化の影響から、昨年（1,349件）から8.9%増加した。							
指標②	自転車事故発生件数（暦年）	R4年度推移	↗	R5年度推移	↘	達成状況	未達成
年齢層に応じた啓発活動や交通安全教育を関係機関と推進したことにより、コロナ禍前の令和元年（772件）からは減少したが、令和5年5月の新型コロナウイルス感染症の5類感染症への移行に伴う社会経済活動の活発化の影響から、昨年（532件）からは15.6%増加した。							

## 9 今後の事業の方向性

### (1) 上記7、8及び県民の意見等を踏まえた課題

- ・コロナ禍後の社会経済活動の活発化に伴い、交通事故が増加したと推測されるため、関係機関・団体との更なる連携強化を図り、交通事故防止を啓発する必要がある。
- ・事故件数全体に占める高齢ドライバーの事故の割合は年々増加していること、事故死者のうち約6割が高齢者であることから、高齢者が関係する交通事故を抑止する必要がある。
- ・令和5年の自転車事故件数は増加した一方で、自転車事故による死者は3人と前年比62.5%減少していることから、自転車用ヘルメット着用促進については一定の成果が出始めていると考えられる。引き続き、自転車の安全利用促進に向けた啓発活動とともに、自転車用ヘルメットの着用を更に促進する必要がある。

### (2) 事業改善の方策

- ・社会経済活動がコロナ禍前の水準に戻っていることを踏まえ、季別の交通安全運動における街頭啓発活動をはじめ、県民の目に触れる啓発活動を関係団体・機関と連携して積極的に行い、更なる交通安全の意識を向上する。
- ・高齢ドライバーに届く啓発活動を積極的に行うとともに、引き続き安全運転サポート車の普及に向けた啓発活動に取り組み、高齢者の交通事故防止を図る。
- ・学校等の関係機関と連携し、自転車運転時の交通ルール遵守はもとより、特に自転車用ヘルメットの着用促進に向けた啓発活動等を実施し、自転車事故の防止と自転車用ヘルメットの着用促進を図る。

事業番号	04 04 02	<b>細事業一覧（令和5年度実施事業分）</b>	□当初要求 □当初予算案 □補正予算案 ■点検			
事業名	<b>地域の交通安全を推進するための事業</b>		部局	県民文化部	課・室	くらし安全・消費生活課

細事業 No.	細事業名	R3年度 決算額	R4年度 決算額	R5年度 決算額
<b>1</b>	<b>交通安全運動推進事業</b>	3,906 千円	4,767 千円	1,611 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和5年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）	
1	交通安全対策会議による交通安全実施計画の策定	直接	第11次長野県交通安全計画に基づく「令和5年度長野県交通安全実施計画」を策定のため、長野県交通安全対策会議の開催 1回開催	
2	長野県交通安全運動推進本部顕彰	直接	長野県交通安全推進本部（本部長：知事）において、交通安全の推進に功労のあった模範的な個人・団体・市町村に顕彰を実施 1回開催	

細事業 No.	細事業名	R3年度 決算額	R4年度 決算額	R5年度 決算額
<b>2</b>	<b>交通安全啓発活動事業</b>	1,726 千円	1,505 千円	1,901 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和5年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）	
1	交通安全運動	直接	県・市町村・県警察本部・教育委員会及び交通安全関係団体による季別の交通安全啓発活動の実施（ポケットティッシュ・反射材の配布等） 4回実施	
2	交通安全運動推進地方部（地域振興局単位）が行う重点啓発	直接	地域振興局ごとに地域の状況等に応じて重点的に取り組むテーマ（例：飲酒運転撲滅等）を定め、これに基づいて交通安全の重点啓発活動を実施 支給額660千円	
3	長野県ダンプカー協会に対する補助金交付	補助金	協会が実施する交通安全対策事業（事業者や運転者への研修会、過積載防止パトロール等）への補助（補助対象経費の1/2以内） 補助額380千円	
4	高齢ドライバー運転事故防止対策	直接	・安全運転サポート車（サポカー）の普及のためチラシを作成し、免許更新時の高齢者講習受講者等に配布 チラシ10万部配布	
5	高齢者の安全運転を支える対策	直接	高齢ドライバー向け交通安全講習の指導者を養成するための研修会の開催 1回開催（オンデマンド方式）	

細事業 No.	細事業名	R3年度 決算額	R4年度 決算額	R5年度 決算額
<b>3</b>	<b>交通事故相談所運営事業</b>	13,325 千円	13,088 千円	13,204 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和5年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）	
1	県内3箇所の常設相談所の運営、巡回相談の実施		交通事故相談員による交通事故被害者等からの交通事故の様々な問題や悩み、疑問などの相談に応じた説明や助言等の実施 3所（長野本所、松本・飯田支所）、計5人配置	

細事業 No.	細事業名		R3年度 決算額	R4年度 決算額	R5年度 決算額
4	安全安心な自転車利用推進事業		569 千円	1,150 千円	4,742 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和5年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）		
1	安全教育・啓発活動の実施	直接	<ul style="list-style-type: none"> <li>・未就学児及び小学校新一年生に対し、啓発小冊子の作成・配布による安全教育を実施</li> <li>・ヘルメットの着用等を促進するチラシの作成し、自転車販売店等へ配布</li> </ul>		
			じてんしゃルールブック1.7万部、親子交通安全絵本1.7万部配布		
2	自転車損害賠償保険等への加入促進	直接	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保険の加入を促すため、条例での加入義務・保険の種類を掲載したチラシの作成・配布</li> <li>・保険会社等との連携による県ホームページ・研修会を通じた情報発信</li> </ul>		
			コンビニ・関係機関等6万部配布		
3	自転車用ヘルメット購入支援事業	補助金	自転車の安全な利用の促進に向け、高校生及び高齢者へのヘルメット購入助成を市町村を通じて実施		
			27市町村実施		